

用語解説

※ 英数字で始まる用語は、50音順の後にまとめて掲載しています。

〈ア行〉

○ ウポポイ p2

民族共生象徴空間。2020（令和2）年7月、白老町ポロト湖畔に誕生したアイヌ文化復興・創造の拠点。愛称「ウポポイ」は、アイヌ語で「(おおぜいで) 歌うこと」を意味する。

〈サ行〉

○ 再生可能エネルギー p2

太陽光、風力、水力、波力、地熱、バイオマスなど、永続的に利用することができるエネルギー源を利用して得られるエネルギー。

〈タ行〉

○ 定住自立圏 p2、p4、p54

地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人の流れを創出するため、地方圏において地域の中心市（中心市）と近隣の市町村が協定を結び、相互に役割分担し、連携・協力することで、圏域全体の医療や交通など住民生活に必要な機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する国の施策。

○ テレワーク p3

情報通信機器などを利用して、場所・時間に制約されず働く労働形態。

〈ハ行〉

○ バイオマス p2

家畜ふん尿、食品廃棄物、稲わら、林地残材などの再生可能な生物由来の有機性資源（石炭や石油などの化石資源を除く）。

○ 法人設立ワンストップサービス p25

法人設立に関する諸手続きをオンラインで一度に行うことができるサービス。

〈レ行〉

○ 連携中枢都市圏 p4

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、コンパクト化とネットワーク化により「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことにより、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済の拠点を形成する国の施策。

〈ワ行〉

○ ワークেশョン p3

「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。リゾート地などで休暇を兼ねてテレワークを行う労働形態。

〈英数（ABC順）〉

○ C I Q p27

Customus,Immigration and Quarantine の略。国境を越える際の交通・物流において必要な手続で、税関（Customs）、出入国管理（Immigration）、検疫（Quarantine）を包括した略称。あるいはそれらを実施する機関又は施設。

○ U・Iターン p26

「Uターン」とは、地方で生まれ育った人が都心で一度勤務した後に、再び自分の生まれ育った故郷に戻って働くこと。「Iターン」とは、生まれ育った場所以外に転居、就職すること。